

目指す学校像 『厚い信頼で結ばれた学校』

# 三原台中 学校評価



## 令和5年度 学教評価アンケートの結果より



三寒四温を実感する時期となり、寒さの中にも少しずつ春の日差しが感じられるようになってきました。今年度の教育活動もあと少しとなり、三原台中生一人一人が今年度のまとめと同時に新たなステージに向けて頑張りを見せています。

さて、今年度の学校評価がまとまりましたのでお知らせします。保護者の皆様には学校評価へのご協力ありがとうございました。いただきましたご意見を参考に、令和6年度の教育活動の改善に努めてまいります。

### 1 回答数について

令和5年度の学校評価アンケートを集計いたしましたのでご報告いたします。アンケートへのご協力をいただきまして誠にありがとうございました。253名の保護者の方から回答していただきました（在籍生徒は554名）。「あてはまる：7点 だいたいあてはまる：5点 あまりあてはまらない：3点 あてはまらない：1点」とし平均値を比較すると、生徒は昨年度より0.09ポイント上がりましたが、保護者は昨年度より0.1ポイント下がりました。また、ご回答いただいた保護者の方は約半数でした。

### 2 全体の傾向

保護者アンケートでポイントが昨年以上の項目は、20項目中、3項目で「1 わかりやすい授業作り」「3 基礎学力の定着」「6 進路指導・キャリア教育」の3項目でした。

生徒アンケートでポイントが昨年以上の項目は、17項目中、14項目で、ポイントが下がったのは「14 行事の充実」「15 部活動の充実」「17 健康・食育」の3項目でした。

### 3 内容ごとの傾向

質問1～7の学習に関する項目では、生徒は全ての項目で昨年度のポイントより上がり、保護者は昨年度のポイントを上まわった3項目全てが入っていました。生徒と保護者の間では概ね同じ傾向が見られ、学習においては成果が現れていました。今年度の授業では、昨年度以上にICT機器を有効に活用したり、話し合い活動を意図的に増やしたりするなど、主体的、対話的で深い学びにつなげていきました。

質問8～13の生徒の生活指導から心や安全に関する項目では、生徒は全ての項目で昨年度のポイントを上まわりました。しかし、保護者は、全ての項目で昨年度のポイントを下まわりました。このように、生徒と保護者の間での認識に違いが見られました。学校では、生徒の規範意識を高めるとともに、学校のきまりを生徒が話し合っ

て検討したり、決めたりすることを行ってきました。また、学校カウンセラーや心のふれあい相談員による面接や道徳授業の充実に努めました。質問14～17の行事や部活動、生徒会活動、健康・食育に関する項目では、生徒の生徒会活動以外は昨年度のポイントより下がりました。ただ、90%以上の生徒は肯定的な回答をしており、新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じ5類になった現在の教育活動への変化の1年間であったことは、生徒にとって昨年度までと異なる新しい活動内容になりました。今後、これからの現状にあった実施形態を生徒の現状と成長目標に向けて作り上げて行きます。

質問18～20は保護者の方へのアンケートになります。その中で地域連携の項目は昨年度よりポイントが上がりました。年度途中で新型コロナウイルス感染症が5類になったため、計画を変更できたこととできなかったことがありました。来年度は、計画段階から地域や小学校と今年度以上の連携を計画していきます。

全ての質問の内、「14 行事の充実」以外は、保護者より生徒の方が肯定的な回答となっています。「14 行事の充実」においても保護者の方が生徒より2%高いだけでした。また、最も生徒と保護者で肯定的な意見の差が大きかったのは「2 個に応じた教科指導」「3 基礎学力」で、保護者より生徒は40%以上肯定的な回答となりました。このようなことを解消するためにも、今後、保護者、地域の方々に、三原台中学校の教育活動について知っていただく機会を増やしてまいります。

※裏面に集計グラフがあります。

# 学校評価アンケート 集計グラフ

:よくあてはまる
  :ややあてはまる
  :あまりあてはまらない
  :あてはまらない
  :わからない

